

江戸川清掃工場建設工事説明会における ご意見・ご質問への見解・回答について



【新工場イメージ図】

東京二十三区清掃一部事務組合では、江戸川清掃工場建替事業について建設工事説明会を開催し、区民の皆さまから貴重なご意見・ご質問をいただきました。

江戸川清掃工場建設工事の内容及び説明会でいただいた主なご意見・ご質問と、それに対する当組合の見解と回答を掲載します。

お問合せ先
東京二十三区清掃一部事務組合
建設部計画推進課
TEL 03-6238-0912

江戸川清掃工場建設工事について

東京二十三区清掃一部事務組合では、一般廃棄物処理基本計画に基づき、清掃工場の整備事業に取り組んでいます。江戸川清掃工場は、令和2年度から令和9年度まで整備を行う予定です。

1 工事概要

■ 工事場所

東京都江戸川区江戸川二丁目36番1号

■ 工期

令和2年9月30日から令和9年5月31日まで

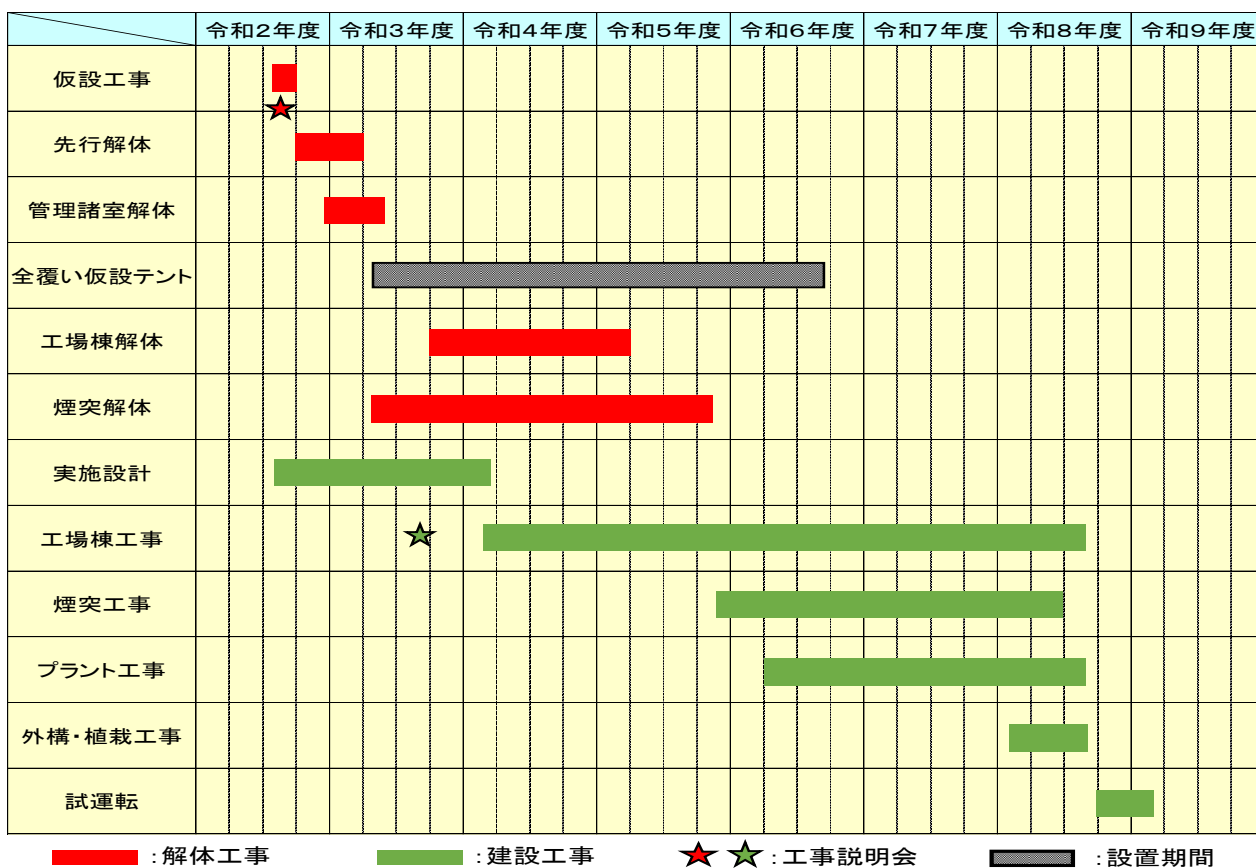
■ 施工者

日立造船・竹中特定建設工事共同企業体

■ 施設概要

- ① 工場棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
地下3階・地上5階／高さ約26m
- ② 煙突 鉄筋コンクリート造外筒／ステンレス製内筒／高さ約150m
- ③ 焼却炉 全連続燃焼式火格子焼却炉
焼却能力600トン／日（300トン／日・炉×2基）
- ④ 発電設備 蒸気タービン発電機出力 約21,000kW

2 工事工程



3 解体・建設工事作業計画

■ 作業日及び作業時間

原則として、月曜から土曜日までの午前8時から午後6時までとし、日曜日、祝日及び年末年始は、作業を行わない日とします。ただし、次の作業は例外として行う場合があります。

- ① 緊急作業、中断が困難な作業
- ② 道路交通法上やむを得ない特殊車両の出入り
- ③ 騒音・振動・粉じんの発生が少ない作業
- ④ 作業中にはできない仮設設備等の点検、メンテナンス

■ 車両台数

約164台/日（ピーク時）

【建設工事説明会でいただいたご意見・ご質問とそれに対する当組合の見解・回答】

1 建設工事説明会の開催状況（合計参加者数 72名）

日 時	会 場	参加者数
11月17日（水） 午後7時～7時36分	東部区民館 2階 けやき・まつ	8名
11月18日（木） 午後7時～7時37分		8名
11月19日（金） 午後7時～7時32分		18名
11月20日（土） 午前10時～10時57分		19名
11月20日（土） 午後2時～2時45分		19名

2 区民の皆さまからのご意見・ご質問とそれに対する見解・回答

住民説明会において住民の皆様からは、様々なご意見・ご質問をいただきました。いただいたご意見・ご質問の要旨と、それに対する当組合の見解と回答を以下にお示しします。

発言者 14名（延べ人数）

(1) 工事内容について

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	平成30年の環境影響評価書案説明会の資料では、仮囲い3メートルの上に粉じん用シートの記載があった。現在、北側仮囲いの上には粉じん用シートの代わりに一部防音シートが張ってあるが東側の旧工場の防音壁部分には粉じんシートも防音シートも張られていないのか。	旧防音壁が、十分な高さであるため設置はしませんでした。粉じんの影響があれば、防音壁部分であっても対応を検討します。
2	現在の重機はいつ頃まで設置してあるのか。	大きなクレーンでの作業は、令和3年12月末頃までの予定です。全覆い仮設テントの骨組みが完了したら搬出をします。

3	地震の発生に備えた、重機が倒れないための対策はあるのか。	地盤改良を行い、安全に作業ができるよう対応しています。また、台風については、天気予報等で事前に分かるため、重機のアームを下ろして風の影響を受けないように法令等に従い対応しております。
4	高所作業時の作業員の指示出しの音が大きい。怒鳴っていて耳障りな指示の出し方である。トランシーバーを使用する等、対応してほしい。	同様な改善要望を承っています。指示のやり取りの際には、無線を使用するように改善をしました。しかし、突発的な危険回避のための指示は、大きな声が出る場合もありますが、なるべく少なくなるようにしていきます。

(2) 騒音・振動について

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	少し前の時期に、地震かと思うくらいの揺れがあった。	令和3年4月頃から管理諸室の解体に着手した際、住民の方から多くのご意見をいただきました。
2	令和3年2～4月頃、まだ工場が解体されていないのに、振動が大きかった。これからもっと大きな振動があると思っている。震度にするとどの程度の揺れがこれからあるのか。	振動対策として重機の振動がどのような伝わり方をするのかをコンピュータで検証し、結果を施工計画に反映していきます。 今後は、令和4年6月頃から令和5年6月頃までの約1年間で工場棟の基礎を解体する期間で、振動の発生が予測されます。振動の大きさに関しては一概に震度で表せませんが、瞬間的に震度2～3相当の揺れが発生する可能性があります。振動の発生が予測される場合は、インフォメーションセンター、掲示板、ホームページ等で、時期や振動の程度を含めて、事前にお知らせします。ご理解のほどお願いします。
3	令和3年4～6月ぐらいに揺れを感じた。これから大きな工場が解体されるということなので、やはり影響があるのか、どれぐらい揺れるのかというのが非常に心配なので、その辺をお伺いしたい。	
4	振動も今後も続くのか教えて欲しい。	

5	工事日に土曜日も含まれているが、それは今後も続くのか。高齢者やぐあいの悪い方々も大勢いるので振動が気になる。	施工者は、4週8閉所とし、基本は土曜日・日曜日を休みとしています。祝日があった場合は、その日数分土曜日を作業日としています。 工場棟の解体が本格化するに当たり、今後も住民の皆様には事前アナウンスを行いながら工事を進めていきます。
6	保育園児がよく利用している広場に騒音・振動計等を設置して欲しい。	騒音・振動計は場内4か所に設置しています。偏りなく測定するため、現在の位置としていますので、ご理解ください。

(3) 環境保全について

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	粉じん計を住民がすぐ見られる外側に設置して欲しい。	粉じん計は、霧等も検出するため外部表示はしていません。現在、基準を逸脱していることはありません。
2	汚染土壌処理はどのようなことを想定しているか。	工場の敷地内では現在18区画※で基準値超過が確認されています。そのうち、東側の緩衝緑地の区画では、鉛の基準値の超過が確認されました。この区画については令和3年8月に全て撤去し健全土と入替えを行いました。その他の区画は、アスファルト等で覆われており、拡散の恐れはありません。
3	土壌汚染で基準値を超えた場所が清掃工場敷地内にあるということだが、これからどうするのか。どのようにこれ以上汚染しないようにしていくのか。	今後、土壌汚染対策法等に基づき、工事の進捗に合わせて対策を行います。 ※令和4年2月現在 32区画
4	建替え時に見つかった六価クロムはどうなったのか。	前回の建替工事のときに確認された六価クロムやカドミウムなどの汚染物質は、2か所の汚染土壌封込め槽に封じ込めています。現在、健全な状態が確認されているので、搬出は予定していません。
5	以前、工場敷地内に茶色い土の山が何か所かあったが、汚染物質にあたるものなのか。	場内に積み上げた土は、土壌汚染のおそれのある土ではありません。汚染土についてはシートで覆う等により、飛散しないようにしていますのでご安心ください。

(4) 新工場について (全般)

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	緩衝緑地のキンモクセイの香りに毎年悩まされている。対応をしてほしい。	植栽については、当面今の状態が続きます。今後、緩衝緑地も整備することになりますので、その中でどのような樹種が適切なのかを検討していきます。
2	新工場にくつろぎの家に代わる娯楽施設はできるか。	新工場の中に住民の方が利用できる娯楽施設を作る計画はありません。
3	新工場はもっと明るいイメージやポジティブなイメージを出した、地域と密着できるようなデザインにしてほしい。	江戸川区のまちづくりとも連携し、「水とみどりに調和した地域にやさしい江戸川清掃工場」を新工場のコンセプトに掲げています。 周辺との調和や環境との共生、エネルギーの有効利用をテーマとしています。施設のデザインについてもアースカラーを基調とし、曲線の屋根を採用しています。 一番イメージが変わるのは、南側の遊歩道です。これまで工場の敷地内だったため、区民の利用はできませんでした。新工場では遊歩道を新設し、桜並木を整備する予定のため、とても明るい印象になると考えています。
4	区のシンボルにあたる煙突なので、何かデザインをしてほしい。	江戸川区景観計画との整合を図る必要がありますが、現工場の頂上付近にあるカモメの絵が20年以上、地域のシンボルとして親しまれてきた経緯がありますので、現在のデザインを継承することを検討しています。

(5) 新工場について (災害対策)

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	新工場は浸水や地震に備える設備、非常食等の備蓄、住民が避難できるスペースはあるか。	水害対策として、今の地盤から防音壁内の地盤を1.6mかさ上げし、工場棟に関しては防水扉等を設置することで浸水対策をします。
2	清掃工場を含む、江戸川区のほとんどの地域が海拔ゼロメートル地帯だが、大きな水害等に見舞われたときに工場は大丈夫なのか。	また、地震対策として、通常の建物よりも強度を増すとともに、大きな地震の際には自動的に焼却炉を停止します。 さらに、災害等で電力会社が停電した場合にも、焼却炉の再稼働が可能な非常用発電機を設置します。
3	浸水の恐れがあるときに、新工場に住民が避難できるスペースはあるのか。	住民の皆様には、災害時の情報収集のために携帯電話の充電などができる設備を考えております。 なお、清掃一組の清掃工場は、災害が発生した際に、自衛隊、消防、警察などの救出救助機関や復旧の活動拠点に指定されています。そのため、災害発生時に一時避難場所として避難いただくことは可能ですが、非常食等の備蓄はありません。そのため、あくまで一時的な避難場所になります。

(6) その他の質問

No.	ご意見・ご質問の要旨	当組合の見解・回答
1	全覆い仮設テントの影響で、電波障害が発生することはあるのか。	可能性は低いですが、万が一、工事中におけるタワークレーン、全覆い仮設テント、清掃工場建物等による電波障害が明らかになった場合には、原因調査を行った後、必要に応じて適切な対策を講じます。
2	工場を解体するに当たり、近隣にネズミ等の小動物が発生するのか。	解体を始めてから工場内を巡回していますが、ネズミ等は確認していません。そのため、工場から発生しているとは考えにくいのですが、もし工場内でネズミが発生した場合は対応していきます。
3	FAXで説明会の申込をしたのに、参加証が届かなかった。近所にも同じような方がいらっしゃるの、今後はことがないようにして欲しい。	この度はご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。今後、このようなことがないように、申し込み方法を検討します。

4	<p>どうやってごみを減らしていたらいいのか。</p>	<p>ごみ減量リサイクルの取組みは、各区がそれぞれの特性を生かして進めています。江戸川清掃工場が立地する江戸川区においても、その地域の特性を生かし、様々な工夫を凝らしながら、ごみ減量に取り組んでいます。</p> <p>一方、清掃工場が一番困っていることは、可燃物の中に金属等の不燃物が混入していることです。不燃物が多いと不具合が発生し工場が停止することもあります。住民の皆様には、ごみの分別に、ご協力をお願いします。</p>
5	<p>新工場ではどのようにごみを焼却、処分しているのかをもっと分かりやすく教えてほしい。</p>	<p>清掃工場では、ごみバンカというところで、ごみを均質、均等に混ぜ合わせて、ごみ質を整えた上で焼却していきます。ごみは焼却すると灰になるので、約20分の1のかさに抑えられます。また、衛生を保つこと、疫病の発生を防ぐこと、匂いも分解できること等を考慮して、焼却処理を行っています。</p> <p>23区の清掃工場で燃やした焼却灰は、東京湾の最終処分場で埋立てをしています。処分場には限りがあります。このまま埋立てを進めていくわけにはいかないため、灰をセメントの原料の一部や路盤材として資源に変えることを始めています。</p>